

3類型	鋳工業品	通巻番号	7-22-006
地域資源名	家具・建具	認定日	平成23年2月2日
地域	徳島県鳴門市	所管省庁	経済産業省

事業名：家具・建具の技術を活用したノックダウン方式による木の風合いを活かしたラウンジチェア及びソファの開発・製造・販売

会社名：株式会社宮崎椅子製作所
 連絡先：TEL：088-641-2185
 FAX：088-641-3459

所在地：徳島県鳴門市大麻町川崎字中筋710
 HP：<http://www.miyazakiisu.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・徳島県はタンス、鏡台、建具、仏壇などの木製家具・装備品の生産が盛んで、鏡台は静岡県と全国市場を二分しており、森林資源が豊富な徳島県の主要な地場産業である。
- ・海外への販路開拓において、輸送コストがかかるため現地製品に比べて価格競争力が劣ることが課題であった。これを解決するためにノックダウン方式※による商品の製造について研究開発を進め、本事業の開発に着手した。
 ※ノックダウン(KD)方式：他地域で生産された製品の部品を輸送して、輸送先の現地で組立・販売する方式。ノックダウン方式を取り入れることにより、様々な利便性が得られる半面、製品強度の確保が課題であったが、当社の木工技術と組み立て(接合)技術を組み合わせることで、品質・強度を維持しながらノックダウン化をすることが可能となった。
- ・ノックダウン方式による従来よりも低価格で利便性のある木の風合いを活かした有機的なライン(3次曲線)をもったラウンジチェアとソファの開発・製造を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・ノックダウン方式により、輸送コストを低減させ、価格面において競争力を持つ。また、当社の保有する木工技術力により、デザイナーや顧客の要望に応じたオーダーメイドの製品開発が可能であるなどの優位性がある。



◆市場性

- ・国内向け家庭用家具の市場規模は8,760億円(平成20年)と推測される。また、日本の木製椅子の輸出入に関する市場は、圧倒的に輸入が多く、新たな市場が期待できる。

◆販路

- ・国内では、セレクトショップを中心として住宅メーカー、建築設計事務所などに販路開拓を行う。
- ・国外では、海外の展示会などで市場ニーズ調査を行い、販路開拓を行う。



地域資源における関係事業者との連携

- ・徳島県立工業技術センターから技術支援などを受ける。
- ・財団法人徳島市地場産業振興協会(徳島市木工会館運営)と木工業とデザインの融合や販路開拓を連携して行う。
- ・JETRO(徳島貿易情報センター)から海外展開における市場調査などの指導を受ける。